

迷走台風

熊本の地震。地球が悲鳴をあげているのか。そして、8月11日に本州に上陸した台風15号。1951年の統計開始以来、初めて茨城県から上陸したということです。この台風は日本列島を東から西へ逆走しました。たて続けに、13日に千葉、27日に石川、30日に福井が豪雨の被害を受けました。一昨年、石川県富来中学校の芳野教頭先生をお迎えし、能登半島地震についての講演をお聴きし、復興の応援をしているところでした。また昨年、修学旅行の際に福井市森田中の生徒の皆さんと直接交流をしました。芳野先生の言葉「能登のことをちょっと考えてくれればいいんです。笑顔がみなを救うんです。」心配が絶えませんが、各地を思い、笑顔を届けたい。お見舞い申し上げるとともに一刻もはやくの復興を祈ります。

しかし、それだけでは収まりません。9月に入って青森に線状降水帯が発生、さらに台風24号は4日現在、沖縄付近をぐるりと円を描くように「1回転(ループ)」する異例の迷走コースをたどる見込みだと言うではありませんか。“迷走台風”という存在を初めて知りました。逆走台風、迷走台風、線状降水帯、このまま地球はどうなっていくのでしょうか。



消火栓のポンプを稼働し実際に放水

気候は迷走、職員室は、8月の末から2学期に向けて奔走。迷走台風や線状降水帯、地震、何が起こるか分からない現代の災害に対して防災訓練を行いました。消火栓操作や避難袋の使用確認、消火器訓練など教員が実際に体験しました。その上で、2学期早々に生徒とともに避難訓練を行います。



これから救助袋を滑り降りる瞬間



日本は天災の多い国であります。古来より人々は、天災を荒ぶる神の仕業と畏れ、深い信仰を捧げてきました。その神を宥なだめ、災いを遠ざけるための祈りは、形を変えながらも現代に受け継ぐ文化となっています。今日、日本各地で賑わいを見せる祭りの多くは、そうした自然への畏敬の念と平穏への願いが原点にあります。31日と1日に行われた、清瀬火の花まつりも「無病息災」や「火伏」を願いお焚き上げをします。1日に、富士山を形どって積み上げられた麦わらに火を付けます。夜空に高く燃え上がる火にあたり、その灰を持ち帰り門口にまけば火災除けや魔除けになると言われています。本校では、毎年、ボランティアを募り参加しています。中里共栄会の皆さんに約200年の歴史があるとお聞きしました。清中生が、そのうちの1年を紡ぎました。即ち、歴史の一角を担ったのです。



2学期が始まりました。廊下ですれ違う生徒達の挨拶には笑顔があります。月末には音楽祭が行われます。指揮者や伴奏者が決まりました。みんなの魂についた火が天高く燃え上がり始めます。生徒に教職員が成功に向けて伴走していきます。それは名走となっていくことでしょう。その前に、中間考査あり!

勉強量は、限界 線上越す態 勢で取り組みましょう。清瀬中生のパワーは 天才 的ですから!